

平成 21 年(2009 年)11 月 24 日

札幌市中小企業振興審議会

会 長 小林 好宏 様

札幌市長 上田 文雄

本市のものづくり産業の振興のあり方について（諮問）

近年、少子高齢化や環境問題といった社会環境の変化や人口の将来的な減少、公共事業費の縮減など本市を取り巻く環境は急激に変化しております。本市では、こうした状況の中で本市経済が持続的に発展していくために、経済の活性化に向けて中長期的に取り組むべき総合的な経済施策の方向性を明らかにする「札幌市産業振興ビジョン」の策定について、現在作業を進めているところです。

本ビジョン策定において、札幌が足腰の強い地域経済を確立して北海道のけん引役となっていくためには、外需型産業の育成と域内経済循環の促進が必要であり、雇用創出効果が大きく、また、他産業への経済波及効果が高い製造業などのものづくり産業の振興がたいへん重要であると考えております。

札幌は資源や一次産品に恵まれた北海道の中心都市として、周辺には空港や港湾、高速道路などのインフラも整い、大学や公設の試験場も多く、優秀な人材も集積しています。本市の製造業は、他の政令指定都市に比べて集積が少なく、百年に一度の経済危機と呼ばれる状況の中、公共事業の削減や厳しい価格競争による売上高の減少など、厳しい経営環境にあります。食品製造分野では大きな強みを持っており、また、知の集積を活かした IT 産業の発展、そしてバイオやデジタルコンテンツといった新しい産業も育ってきているところです。

本市において、北海道や札幌の持つ強みを活かし、ものづくり産業を中長期的な視点で振興を図っていく必要があると考え、札幌市中小企業振興条例に基づき、本市のものづくり産業の振興のあり方について貴審議会へ諮問いたします。